

第1回「門川町新庁舎建設町民審議会」会議内容

日時：平成29年4月20日（木）10：00～12：03

場所：役場3階会議室

1. 開会：委員1名欠席（10：00開始）
2. 委嘱状交付
3. 町長あいさつ
4. 委員紹介
5. 職員紹介
6. 新庁舎建設町民審議会設置要綱について
7. 会長、副会長選出
  - ・会長：猪倉 照央 様（地区会長・自治公民館連合会会長）
  - ・副会長：安田 厚生 様（門川町商工会会長）
8. 諮問
9. 議題

(1) 新庁舎建設に係る組織体制図について

**事務局説明**（質疑なし）

(2) 新庁舎建設基本構想（素案）について

「1 新庁舎建設の必要性」

**委員A**：緊急防災・減災事業債を使った場合、交付税措置が平成32年度までということは、新庁舎をそれまでに完成させるということか。

**事務局**：はい、平成32年度完成を目指して進めていきます。

**委員A**：耐震補強工事から14年経過しているということだが、庁舎の現状はどうか。

**事務局**：現在のところ問題は出ていないが、老朽化が進んでおり懸念されます。

「2 新庁舎建設の基本的な考え方」

**委員B**：会議の場としての庁舎、という視点は考慮されていないのか。

**事務局**：ユニバーサルデザインに配慮した庁舎、行政経営の効率化につながる庁舎、という観点から基本構想に入れていきます。

**委員C**：新庁舎建設に木材の活用は考えているか。

**事務局**：まだ基本構想の段階で具体的な材料は決めていませんが、できるだけ使用する方向で考えています。

**委員D**：ユニバーサルデザインに配慮した庁舎、無駄を省いた経済的な庁舎、とあるが、モデルとなる施設はあるのか、また視察はしたのか。

**事務局**：作業部会のなかで他自治体の状況を研究し、参考にしながら、必要があれば視察も行います。

**委員D**：総合案内所に担当者を配置しなくてもよいくらいの、分かりやすい庁舎にして欲しい。

**委員E**：無駄を省いた経済的な庁舎の中に華美な要素を極力抑制しとありますが、庁舎は町民の方も利用するので文化財的要素も必要となると思われますので検討をよろしくをお願いします。

**委員F**：議会のテレビ中継を導入できないか。

**事務局**：議員の方々、議会事務局の意見を聴きながら検討していきたいと思います。また日向市等の議会議場を検証したいと思います。

### 「3 庁舎の位置及び敷地」

**事務局説明** (質疑なし)

### 「4 庁舎の規模等」を説明

**委員B**：庁舎の規模について約5000㎡というのは、職員の業務フロアの面積か。

**事務局**：廊下、トイレ等も含めた役場全体の延べ床面積です。

**委員B**：5000㎡より広くした場合、その分について事業債は使えないのか。

**事務局**：緊急防災・減災事業債で活用できる限度が5,000㎡分までとなります。

**委員G**：駐車場の規模は現庁舎の駐車可能台数の最大値とするのか。

**事務局**：来庁者が集中する時期にも対応できる駐車台数を確保できるよう計画します。また同じ人口規模の自治体の事例を参照したいと思います。

**委員A**：現在の駐車場より広いスペースを確保できるか。

**事務局**：建設場所が決定されたあと、新庁舎とのバランスをとりながら、駐車スペースを確保していきたいと思います。

**委員A**：駐車場については、交付税は受けられないのか。

**事務局**：緊急防災・減災事業債を使った場合は交付税対象となります。

「5 建設費用及び財源等」を説明

**委員E**：緊急防災・減災事業債の起債充当率は100%となっているが、資料のグラフではそうはなっていない、どういうことか。

**事務局**：事業内容により補助対象になるものと対象外になるものがあります。補助対象事業になるものが起債充当率100%ということです。

**委員B**：建設費30億円の見積額に合致するように、基金、一般財源の額を算出したのか。

**事務局**：30億円は4年間の総事業費であり、3カ年かけて事業債の対象となる経費に緊急防災・減災事業債を充ていき、残りの部分が一般財源等になり基金を取り崩しながら対応していきます。基金については、財政調整基金と公共施設整備基金があり、現在の貯金額が約40億円となっており、今後有効活用していきます。

**委員H**：現庁舎内の備品類はどのように活用するのか。

**事務局**：オフィス環境整備計画の主旨に見合うものは再活用していきます。

「6 事業者選定の考え方」を説明

**事務局説明**（質疑なし）

「7 事業スケジュール」を説明

**事務局説明**（質疑なし）

「8 おわり」を説明

**事務局説明**（質疑なし）

(3) 今後のスケジュールについて

**委員I**：2回目の町民アンケートをする予定はあるか。

**事務局**：今回のみの計画です。

**委員I**：アンケートの調査結果をどのように活用するのか。

**事務局**：アンケートの回答集計により、町民の考えを把握することができるので、参考にしながら計画を進めていきます。

10. その他

**事務局説明**（次回について）

11. 閉会（12：03終了）